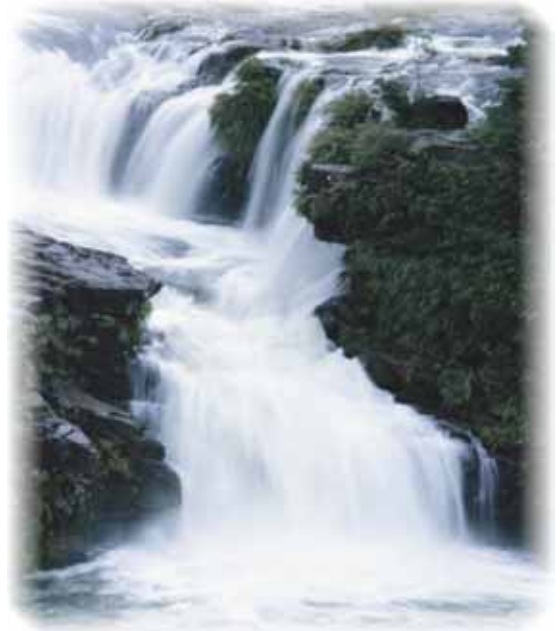


水の話 VOL 2



水の溶解力

水の分子は酸素原子（ \cdot ）1つと水素原子（ $+$ ）2つの結合によってできています。

その結合は、 104.5 度の角度（下図参照）でつながっています。

その結びつきは、他の原子のもの比べて、非常に順応性があります。

それは、結合できるくらい強く、簡単に離れられるくらい弱いのです。この性質がいろいろな物質と結合しやすい水の特質をつくっています。

それは、溶媒としての水の働きにあらわれています。水にはありとあらゆるものを溶かし込む力（溶解力）があります。

コップの中の水は、そのガラスさえもごく微量ですが、溶かしているのです。

日常生活で使用する水を思い出してください。そのほとんどが、お風呂・洗濯・食器洗い・トイレ・洗車など、汚れを落とすために使われていることに気が付くでしょう。水の温度が高くなればなるほど溶解力は強くなります。

水では落ちない汚れが、お湯で洗ったら簡単に落ちた経験はありませんか？

私たちはほとんど意識せず、水の溶解力を日常生活で体験しています。



水は大きなサイクルで地球を循環しながらいろいろなものを溶かし込んでいます。

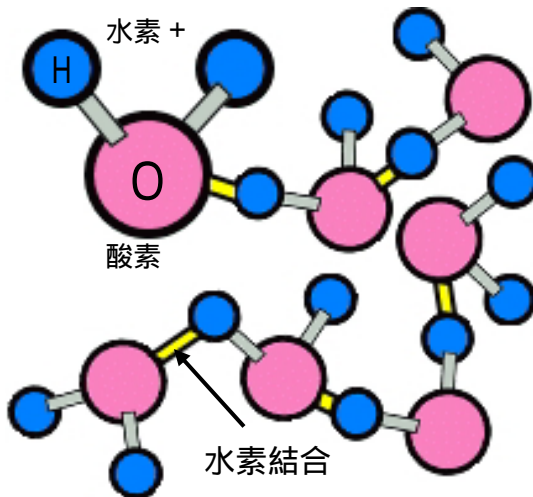
空気からは酸素・窒素・二酸化炭素を大地からはカルシウム・マグネシウム・ナトリウム・カリウムなどのミネラルを溶かし込み、その配列の組み換えを繰り返しています。

この水の溶解力が、40億年前の海水の中に、生命誕生に必要な、いろいろな物質を溶かし込んでくれたのです。このような水の特質がなかったら、生命の誕生はなかったといえます。

そして、水の溶解力は血液や組織液などに必要なものを溶かし込み、からだのすみずみに運んでくれます。

私たちの生命はこの水の溶解力によって維持されているのです。

水の分子集団(イメージ)



1ccの水の中には350兆個の水の分子があるといえます。それは、絶えず相手の水分子を替えながら動き回っています。

その回数は0度近くの水温でも、1秒間に1億回以上にもなります。（凍っている状態でも10万分の1秒くらいの速さで、揺れたり震えたりしています。）

水が流れるのも、自由にかたちを変えることができるのも、このような特質があるからです。